

市街地開催の難しさを乗り越えたスタッフの連携と多くの人々との「絆」。

今年の杉コレは、さまざまな人々が効率的に連携し、難しいと思われた市街地でのイベントを、大きなトラブルもなく無事に終了することができた。その結果、これまでにない様々な「繋がり」が実感できたイベントとなった。

まずは日本各地からこの最終選考会に臨んだ一般の作者たち、その中には韓国からの参加もあり、国際的な交流の可能性も生まれた。

そして、昨年の東日本大震災で被害にあった岩手県野田村からはるばるこの杉コレに参加してくれた小田村長と野田小の子どもたち。

さらに、イベントを支えていただいた多くの企業関係者の方々や、実物大の作品を作っていたいた製作担当者。子ども杉コレに参加してくれた宮崎の小学

生たちなど、普段何気なく生活する中ではまず出会うことのない人々がこのイベントのために宮崎に集まってくれたのである。

今回「屋台」をテーマにしたのは、「屋台」が人と人を繋ぐコミュニケーションツールとしての役割を持っているからである。

今回の作品には、概ね人と人を繋ぐための工夫が施されていた。どれも、「この屋台でだけかとお酒を酌み交わしたい」というふう感じられる作品ばかりであった。残念ながら、その屋台を使って本物のお酒を飲むことはできなかったが、だれもが「ここでおいしいお酒が飲みたい」と思ったにちがいない。最終プレゼンに参加された人ならみなそう感じていたと思う。

この日は途中から雨が降り出したが、市街地の別会場では古事記編さん1300年祭のイベントも開催されており、かなり多くの方々に杉の作品に触れていただくことができた。

イベントの準備と撤収は、見事なものであった。朝、何もない商店街の風景が昼には一転賑やかなイベント広場となり、さらに終了後の夜にはいつもの商店街の姿に戻り、まるで何もなかったかのような様子である。まさに協力スタッフの息のあった連携が活かされた。

近年活発化する「木育」活動の影響を受け、県内でも杉をメインにしたイベントが多数開催されるようになった。また、全国的にも、木のよさを見直す動きが高まりつつある。そのような中であって、杉の素材生産量日本一を誇る宮崎県の杉コレクションは、どこにも負けないイベントに成長したと感じることができた。杉コレは、これからもさらに進化し、より多くの人々との繋がりを広めながら、杉の良さをアピールし続けることが重要な使命なのである。



グッドデザイン賞の額を受け取る安田圭沙ちゃん



杉コレクション2012 in宮崎を終えて

宮崎県木材青年会連合会会長

大浦 秀幸



今回「杉コレクション2012 in宮崎」がここ宮崎市で無事開催できましたことに、関係者の皆様に心より深く感謝申し上げます。

今年は、東日本大震災後の「復興元年」でもあり、東北に元気を届けたいという思いから、東日本被災地支援ことも部門を設け、岩手県野田村の小学校から作品を応募し、最終選考に残った3人の子どもたちと村長さんまでも当日参加してくれまして、深い交流ができ、思い出に残る心あたたまる杉コレになったと思います。また、今回は開催場所を思い切っ宮崎市街地のど真ん中に設け、設営・撤去がかなり困難でしたが、宮崎県の全木青会員のマンパワーのご協力もあってスムーズに運営することができました。お陰様で、多くの市民に街中に足を運んでいただき、少しでも「杉コレ」を通して中心市街地の活性化のお役に立つことができたと思います。今年、応募総数約500作品のなかから、「ひとりじゃヤタイ！」というテーマのもと、こども部門6作品、一般部門8作品(ヤタイで8台)を選考しまして、実物大に製作し展示しまして最終審査を開催しました。それにしても今回のプレゼンは楽しく、工夫のなかに笑いと情熱が多く見受けられましたことが印象的でした。まさにテーマとおりの「みんなが笑顔になれる場所」になったのではないのでしょうか！木青会活動最後の年に、このようなみなさんに支えられた素晴らしい杉コレにかわれましたことに深く感謝を申し上げます。最後に皆様、次回の杉コレも今年以上のご協力をぜひ宜しく御願致します。

杉コレクション2012 in宮崎を終えて

杉コレクション2012実行委員長

横山 淳二



今回で8回目となる杉コレクションは場所を宮崎市内の中心市街地「ニシタチ」で開催され、盛会に終えることができました。メインテーマは「みんなが笑顔になれる場所」また作品テーマは「ひとりじゃヤタイ！」でした。一次選考会には最初の我々の予想を遙かに越えた応募がありました。応募総数は一般部門197作品、子ども部門258作品、また、東北支援杉コレで岩手県野田村の野田小学校から27作品の応募がありました。さらに今回はいきなり県外どころか日本を越えて韓国からの応募もありました。一般部門の想像もできない楽しい作品、子ども部門の夢のある作品、野田小学校の優しい作品というふう二次選考会から杉コレはやはりおもしろいと思っただいです。

最終選考会には素晴らしい作品が選ばれ、みやざきアートセンター、若草通りを杉色に飾りました。場所的に多くの一般の方達に見てもらって触れていただけたのではないのでしょうか。

テーマどおりに作品の周りにはいよいよ笑顔の花が咲き乱れました。その光景を缶ビール片手に見ながら感動しておりました。審査途中でしたけど(笑)

今回の杉コレは木青会各会員の皆さんの協力なしにはできなかった杉コレだったと思います。限られた予算での作品制作をしていただき、また設置撤収作業も協力いただきありがとうございました。

最後になりましたけど、協賛協力をしていただいた企業様、また関係者の皆様へ心より感謝し御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

杉コレクション2013に向けて

次期実行委員長

今井 武久



杉コレクション2013 in延岡実行委員長に任命されました「せかいの今井」です。よろしく申し上げます。まず、杉コレクション in 宮崎の関係者の皆様、大会が大盛況に終わり、大変お疲れ様でした。ついに次期開催地として、延岡の出番がやってきます。延岡での杉コレは初の試みとなります。

現在の延岡木青会は、会員数7名内、殆どが1・2年生という現状で、果たして大会が開催出来るのか?と、心配されている状況です。しかし皆の心は熱く、今期活動の中でも「七夕まつり」や「えきまち音楽祭」など地元行政・商業観光課・商店街・各市民団体・学生サークルなどとタイアップしてイベントに参加し、二つ二つ確実に実績・成果が出せるようになってきました。今後、このような地域密着した活動を継続していく事で、更に活動域を駆け、地元との関係・連携・繋がりを築き、又延岡木青会のレベルアップを図って、必ず大会を成功させようと皆で意気込んでいます。

延岡市も2013は市制80周年を迎えるという事で、杉コレを開催する際には、延岡市と一体となったみんなが楽しめる「祭り&大会」に出来たらと思います。又杉コレという大会を通じ、子供から若い世代、年配の方まで、みんなが木とふれあい、木で遊び、木の大切さを学べるようなきっかけになれば良いと思います。これから大会準備にあたり、延岡木青会が一丸となって頑張っていきますので、各関係者の皆様には、ご指導・ご鞭撻・ご協力の程よろしくお願い致します。杉コレを延岡らしい、延岡の色で、熱くチャレンジしていきますので、みんなで楽しみましょう。